本年度の結果

	数学
阿蘇市	55
全国	59.8

領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
阿蘇市	55.1	72.0	33.2	52.1
全国	63.8	72.4	40.8	56.3

観点別	数学的な見方考え方	数学的な技能	数量や図形に知識理解
阿蘇市	45.1	54.6	69.4
全国	51.0	63.9	71.3

本年度の主な結果について

○移動前と移動後の図形を比較して2つの図形を読み取ること、代表値の必要性と意味を理解し、代表値を求めることができることなどに改善が見られた。

- 領域別にみると、「数と式」「関数」「資料の活用」に課題がある。
- 観点別に見ると、「数学的な見方・考え方」「数学的な技能」に課題がある。
- 根拠を明らかにして筋道立てて説明することに課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 平行移動の意味を理解している(3)
- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる(7(3))
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる(8(2))

【課題】

数と式

- 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる(2)
- 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる(9(1))

図形

- 説明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している(7(1))

関数

- 反比例の表から、 x と y の関係を式に表すことができる(4)
- グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる(6(1))

資料の活用

- 簡単な場合について、確率を求めることができる(5)
- 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる(8(3))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「数学が好き、大切と思う。」は全国を下回っているが、改善が見られた。
- 「数学の授業で学習したことは、社会に出たとき役立つか。」は全国を上回っている。
- 数学の記述式の問題を最後まで書こうと努力した生徒は、全国を上回っている。

【課題】

- 「数学の授業の内容はよく分かるか」は改善が見られたものの、全国よりも低い。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りや適用問題を行う。
- 「何を学ぶのか」が分かる「めあて」を板書し、解決の見通しを持てるようにする。
- 様々な問題を数学を活用して解決できるように、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、言葉や式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いる能力を培う。
- 考えを交流する場面では、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 生徒主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 少人数指導やTT指導等で基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導を行う。

【家庭学習等】

- 学習内容の定着を図るため、生徒の課題や学習意欲等に応じた家庭学習や自学学習を進めるとともに、家庭と連携して生活習慣や家庭学習の習慣化を図る。